

<p>●施策名</p> <p>【施策 6】 高度情報化社会を主体的に生きていく力をはぐくみます (関連指標：指標 36～指標 37 (P55))</p>
<p>i 情報活用能力の育成</p> <p>ii 情報モラル教育の充実</p> <p>iii 教育の情報化に関する基盤整備</p> <p>iv 公立大学法人への支援を通じたコンピュータ理工学の教育、研究等の推進</p>
<p>●代表的な取組の進捗状況</p> <p>i 情報活用能力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育センターにおいて、「校務処理に生かす表計算」等の専門研修の講座を7つ準備し(定員：約200名)、教職員のICTに関する専門性を高めることができるようにしています。また、ICTを活用して指導ができる教員の割合を高めることができるよう、各教科の研修の中にICTを活用した指導法に関する内容を取り入れ、教員のICT活用指導力の向上を図っています。 <p>ii 情報モラル教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報モラル教育の充実を図るため、教育センターにおいて、情報モラル指導資料を作成し、ホームページで公表しています。 <p>iii 教育の情報化に関する基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報資源を効果的に利用できる学習環境を実現するため、整備済みの校内LANシステムのセキュリティ対策、障害発生時の対応、老朽化した校内LANシステムのサーバー更新を行っています。また、教育用コンピュータのリースを行い、整備を進めています。 <p>iv 公立大学法人への支援を通じたコンピュータ理工学の教育、研究等の推進</p> <p>公立大学法人会津大学へ運営費交付金を交付し、コンピュータ理工学の教育、研究等を推進しています。</p>
<p>●問題点・改善等が必要な項目</p> <p>① 情報活用能力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の能力向上のため、教員のICT活用指導力の向上。 ・ 携帯電話等の情報機器に対する科学的な理解促進と、情報モラル教育のより一層の充実。 <p>② 教育の情報化に関する基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厳しい財政状況の中で、教育ネットワークに係る維持管理費の確保が厳しい状況となっており、経費節減に向けシステムの見直し等が喫緊の課題。

●取組の方向性

① 情報活用能力の育成

- ・ ICTを活用して指導できる教員を増やすため、研修の充実を図ります。
- ・ 児童生徒の実態に応じた指導ができるよう、情報モラル指導資料の充実及びホームページでの公開を進めます。

② 教育の情報化に関する基盤整備

- ・ 教育ネットワークシステムの安定運用に必要な予算の確保を図ります。
- ・ 情報化社会に対応しうる教育環境を整備するため、引き続き校内LANの整備・保守及び教育用コンピュータのリースを行います。

●主な指標の状況

・指標 1

ICTを活用して
指導ができる教員
率（公立小・中・
高・特別支援学校）

現況値

67.2%

年度別目標値

100%

評価

順調
ではない

①評価の理由

現況値は前年度と比べ
0.3ポイント改善してい
るものの、目標値と大きく
開いているため。

②今後の取組

ICTに関する教員研修
の充実や、ICTを活用し
た授業の実践例の公開等
によって、教員のICTを活
用する意識と指導力の向上
に努める。

